

1. シングル注文とは

1. 指値注文とは

指値注文は今よりも有利な価格になったときに買ってほしい(売ってほしい)という時に使います。

指値注文では、売買する「値段」を指定して注文することができます。成行注文やストリーミング注文とは違いすぐに成立せずに、その値段に到達したときに注文が成立します。



成行注文は「時間」を優先する注文、指値注文は「価格」を優先する注文と言えます。

2. ストップ注文とは

「逆指値注文」「トリガ注文」とも呼ばれます
ストップ注文は指値注文とは逆に、今よりも不利な価格になった時に買ってほしい(売ってほしい)という時に使います。

主に、「これ以上損失を広げたくない」という時など、リスク管理に使われます。
指定した価格以上に相場が抜けていくと考えるときにも使うことができます。

ストップ注文は指定した価格に達したときに**成行注文**で発注されます。したがって、相場急変時には指定したレートよりも不利なレートで約定する可能性があります。



プレオープン時間にストップ価格に達した場合でも成行注文が発注され、付け合わせ開始後に注文が成立いたします。

3. ストップ指値注文とは

ストップ指値注文は、ストップ価格に達したときに指値注文を発注する注文方法です。

ストップ注文と同様に、今よりも不利な価格になった時に買ってほしい(売ってほしい)という時に使います。

ストップ注文と違う点は、ストップ価格に達したときに**指値注文**が発注され、ストップ価格よりも乖離するときには成立させないように許容幅を設定することができます。

ストップ指値注文で、指標発表時や月曜日の取引開始時などに価格にギャップが生じる時に、極端なレートで成立することを避けることができます。

逆に指値の条件に当てはまらなければ注文が成立しない場合もありますので、必ず成立させたい損切注文などの時にはストップ注文を利用します。



プレオープン時間にストップ価格に達した場合でも指値注文が発注され、付け合わせ開始後に注文が成立する場合があります。

4. トレール注文とは

トレール注文は、ストップ注文を相場の変動に追尾させていく注文方法となります。

ストップ価格と今のレートの価格差が、トレール幅よりも広がった時に、レートのトレール幅分離れた所にストップ価格が変更されます。

例えば、買いポジションの損切りラインを相場の上昇に合わせて徐々に切り上げていくときなどに使用します。



プレオープン時間にストップ価格に達した場合でもストップ注文が発動し、付け合わせ開始後に注文が成立する場合があります。
プレオープン時間でもレートの追尾は行われ、ストップ価格が変更されます。

5. 指成注文

指成注文は、通常の指値注文の有効期限が切れた時に、成行注文で注文する方法です。

有効期限に、日時を指定します。

<http://www.s>

取引ガイド シングル



2. 注文の手順

1. 指値注文

区分

【新規】新規にポジションを持つ際に指定します

【決済】ポジションを決済する際に指定します

売買

売りの注文であれば「売」、買いの注文であれば「買」を指定します。

執行条件

【指値】を指定します。

価格

指値で買いたい値段(売りたい値段)を指定します。指値注文ですので現在のレートよりも有利な価格を入力します。買い注文であれば今のレートよりも安い価格、売り注文であれば今のレートよりも高い価格を指定します。

数量

注文する数量を指定します。1枚単位で入力します。

(ドル円であれば1枚 = 1万ドルとなります)

通貨により取引単位が異なりますのでご注意ください

有効期限

注文の有効期限を指定します。有効期限内に指定した価格まで達しなければ注文が失効します。ただし、不足金やロスカットによりシステムにより強制的に注文が取り消されることがあります。

【DAY】その日の取引終了時点(通常期間 6:55、サマータイム期間 5:55)まで有効な注文です。

【WEEK】その週の週末まで有効な注文です。金曜日の取引終了時点で注文が失効します。

【GTC】期限を指定しない注文です。GTC はキャンセルされるまで有効(Good Till Cancel)という意味。キャンセルされるまで有効な注文となります。

【GTD】指定した日の取引終了時点まで有効な注文です。GTD に設定すると日付を指定する画面が表示されます。

【GTDH】指定した日時まで有効な注文です。GTD と違い時間まで指定することができます。

2. ストップ注文

区分

【新規】新規にポジションを持つ際に指定します
【決済】ポジションを決済する際に指定します

売買

売りの注文であれば「売」、買いの注文であれば「買」を指定します。

執行条件

【ストップ】を指定します。
 ストップを指定すると、ストップ価格などが入力できるようになります。

ストップ価格

指値で買いたい値段(売りたい値段)を指定します。
 指値注文ですので現在のレートよりも有利な価格を入力します。買い注文であれば今のレートよりも安い価格、売り注文であれば今のレートよりも高い価格を指定します。

発動時条件

【成行】を指定します
 【指値】を指定するとストップ指値注文になります。

数量

注文する数量を指定します。1枚単位で入力します。
 (ドル円であれば1枚 = 1万ドルとなります)
 通貨により取引単位が異なりますのでご注意ください

有効期限

注文の有効期限を指定します。有効期限内に指定した価格まで達しなければ注文が失効します。ただし、不足金やロスカットによりシステムにより強制的に注文が取り消されることがあります。

【DAY】その日の取引終了時点(通常期間 6:55、サマータイム期間 5:55)まで有効な注文です。

【WEEK】その週の週末まで有効な注文です。金曜日の取引終了時点で注文が失効します。

【GTC】期限を指定しない注文です。GTC はキャンセルされるまで有効(Good Till Cancel)という意味。キャンセルされるまで有効な注文となります。

【GTD】指定した日の取引終了時点まで有効な注文です。GTD に設定すると日付を指定する画面が表示されます。

【GTDH】指定した日時まで有効な注文です。GTD と違い時間まで指定することができます。

3. ストップ指値注文

区分

【新規】新規にポジションを持つ際に指定します

【決済】ポジションを決済する際に指定します

売買

売りの注文であれば「売」、買いの注文であれば「買」を指定します。

執行条件

【ストップ】を指定します。

ストップを指定すると、ストップ価格などが入力できるようになります。

ストップ価格

指値で買いたい値段(売りたい値段)を指定します。指値注文ですので現在のレートよりも有利な価格を入力します。買い注文であれば今のレートよりも安い価格、売り注文であれば今のレートよりも高い価格を指定します。

発動時条件

【指値】を指定します

【成行】を指定すると通常のストップ注文になります。

指値価格

ストップ価格に達したときに発注した指値注文の価格を設定します。

数量

注文する数量を指定します。1枚単位で入力します。(ドル円であれば1枚 = 1万ドルとなります)

通貨により取引単位が異なりますのでご注意ください

有効期限

注文の有効期限を指定します。有効期限内に指定した価格まで達しなければ注文が失効します。ただし、不足金やロスカットによりシステムにより強制的に注文が取り消されることがあります。

【DAY】その日の取引終了時点(通常期間 6:55、サマータイム期間 5:55)まで有効な注文です。

【WEEK】その週の週末まで有効な注文です。金曜日の取引終了時点で注文が失効します。

【GTC】期限を指定しない注文です。GTC はキャンセルされるまで有効(Good Till Cancel)という意味。キャンセルされるまで有効な注文となります。

【GTD】指定した日の取引終了時点まで有効な注文です。GTD に設定すると日付を指定する画面が表示されます。

【GTDH】指定した日時まで有効な注文です。GTD と違い時間まで指定することができます。

4.トレール注文

区分

【新規】新規にポジションを持つ際に指定します

【決済】ポジションを決済する際に指定します

売買

売りの注文であれば「売」、買いの注文であれば「買」を指定します。

執行条件

【トレール】を選択します

ストップ価格

ストップ注文ですので現在のレートよりも不利な価格を入力します。買い注文であれば今のレートよりも高い価格、売り注文であれば今のレートよりも安い価格を指定します。

トレール幅

ストップ注文を追随させる幅を指定します。

数量

注文する数量を指定します。1枚単位で入力します。

(ドル円であれば1枚 = 1万ドルとなります)

通貨により取引単位が異なりますのでご注意ください

有効期限

注文の有効期限を指定します。有効期限内に指定した価格まで達しなければ注文が失効します。ただし、不足金やロスカットでシステムにより強制的に注文

が取り消されることがあります。

【DAY】その日の取引終了時点(通常期間 6:55、サマertime期間 5:55)まで有効な注文です。

【WEEK】その週の週末まで有効な注文です。金曜日の取引終了時点で注文が失効します。

【GTC】期限を指定しない注文です。GTC はキャンセルされるまで有効(Good Till Cancel)という意味。キャンセルされるまで有効な注文となります。

【GTD】指定した日の取引終了時点まで有効な注文です。GTD に設定すると日付を指定する画面が表示されます。

【GTDH】指定した日時まで有効な注文です。GTD と違い時間まで指定することができます。

開始条件入力

ON にするとトレール開始価格が入力できるようになります。ON にすると「予約トレール成行注文」、OFF にすると「トレール成行注文」になります。

トレール開始価格

トレールを開始させる価格を入力します
開始条件入力を OFF にしている時は、為替レートとストップ価格の差がトレール幅以上となると自動的にトレールが発動されます。

開始条件入力を ON にしている時は、トレール開始価格に到達するまでトレールされません。

【トレール成行注文とは】トレール成行注文は、現在レートとストップ価格の差がトレール幅よりも大きくなったとき、ストップ価格が変動します。

【予約トレール成行注文とは】予約トレール成行注文は、トレール開始価格に達したときに初めてストップ注文がレートに追尾します。トレール開始価格に達するまでは、ストップ注文は発動しないことになります。

4.指成注文

区分

【新規】新規にポジションを持つ際に指定します

【決済】ポジションを決済する際に指定します

入力します。買い注文であれば今のレートよりも安い価格、売り注文であれば今のレートよりも高い価格を指定します。

売買

売りの注文であれば「売」、買いの注文であれば「買」を指定します。

数量

注文する数量を指定します。1枚単位で入力します。(ドル円であれば1枚 = 1万ドルとなります)

通貨により取引単位が異なりますのでご注意ください

執行条件

【指成】を選択します

指成期限

指値注文が成行注文に変化させる時刻を指定します。

ただし、不足金やロスカットでシステムにより強制的に注文が取り消されることがあります。

価格

指値で買いたい値段(売りたい値段)を指定します。指値注文ですので現在のレートよりも有利な価格を